

# 都市再生整備計画

ふじおかしがいち  
藤岡市街地地区

ぐんま ふじおかし  
群馬県 藤岡市

平成24年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	ふじおかし 藤岡市	地区名	ふじおかし が い ち ち く 藤岡市街地地区	面積	999 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

### 目標

#### 大目標: 安心・安全・快適なまち藤岡の形成

- ①歩行者や自転車に配慮したまちづくりの推進
- ②災害に強いまちづくりの推進

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

##### ■まちづくりの経緯

本市は群馬県の南西部に位置し、東は埼玉県上里町・神川町、西は高崎市・甘楽町・下仁田町、南は神流町・埼玉県秩父市、北は高崎市・玉村町と境界を接している。

市内では昭和40年頃から輸送機器、電気機器などを中心とする企業の進出が進むとともに、周辺市町村から人口の流入が進むなど着実な発展を遂げた。その後、関越自動車道や上信越自動車道など国土軸の根幹をなす高速交通網の整備により、広域的な交通利便性が飛躍的に向上した。

その後、平成18年1月に旧鬼石町を編入して現在に至っている。

本地区は、藤岡市の北部に位置する市街地である。地区北側は藤岡インターチェンジ及び藤岡ジャンクションなどが立地する交通の要衝であるほか、北藤岡駅周辺で新市街地の形成が進みつつある。地区東側は高崎市側に立地する新町駅の周辺で古くからの住宅地が立地している。地区南側は行政機能や生活利便施設が集まる市の中心部であり、沿道部には商業地、後背部には住宅地が広がっている。

地区内では、平成19年度から「藤岡北部市街地地区 都市再生整備計画事業」に基づき、「安心・安全・快適なまち藤岡の形成」を目標に、都市計画道路の整備や生活道路の改善、防災対策、市内循環バス等による公共交通の利便性改善に努めている。

##### ■現況

地区内では市内他地区ほどではないものの緩やかな人口減少に転じており、地区内の高齢化率も箇所によっては30%を超える所が現れている。

また、都市再生整備計画事業により市街地の整備改善が進んだものの、都市計画道路の整備率は高くない。また、駅周辺の既成市街地や集落地では歩車分離や防災対策をはじめとした市街地の整備改善が必要な箇所も多く残っている。

加えて、都市再生整備計画の事後評価のために平成23年7月に実施した満足度アンケート(回答者:約450人)では、事業実施により改善されたと感じた回答者が32%おり、内訳として特に道路の利用しやすさについては64%の人が良くなつたと回答している。一方で、バスに対する評価が11%と低かったほか、自由意見として道路整備による混雑箇所の発生、歩道の設置に関する意見が寄せられている。

### 課題

藤岡北部市街地地区(第1期)都市再生整備計画の事後評価では一定の効果がみられたものの、以下の課題への対応が求められている。

- ・都市計画道路の整備により市街地への通過交通が減少し、生活道路等の市道整備により市民の安全性の満足度が向上したが、安全な道路利用の環境が確保されていない箇所が残っており、道路整備の継続が必要である
- ・バス運行改善事業等の実施により下げ幅はゆるやかになりつつあるが、H23に実施したアンケートで「バスの利用しやすさ」の満足度が低いため、利用者の満足度向上に向けた対策が必要である
- ・調整池整備を実施したことにより排水エリアが拡大し、排水路整備を実施したことにより市街地外周部の防災対策が進んだが、排水対策がなされていない箇所が残っており、災害対策の継続が必要である

### 将来ビジョン(中長期)

#### ・藤岡市都市計画マスタープラン(平成19年度)

将来都市像: 水と緑に包まれ人と歴史が息づくまち『快適・安心な交流拠点都市 ふじおか』

地域別構想での「まちづくり構想」:

〔中部地域〕①魅力ある中心市街地づくり ②スマーズに流れる道づくり ③快適な生活ネットワークづくり ④緑豊かな市街地景観づくり ⑤利便性の高い公共交通のシステムづくり

〔東部地域〕①秩序ある計画的なまちづくり ②スマーズに流れる道づくり ③自然環境を活かしたまちづくり ④居住と営農が調和した環境づくり

〔北部地域〕①藤岡の新しい顔となるまちづくり ②人々が移り住む新たなまちづくり ③連続性のある沿道まちづくり ④スマーズに流れる道づくり ⑤居住と営農が調和した環境づくり

### 目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 都市計画道路の整備率	%	市街化区域内の都市計画道路の整備率	藤岡インターバル線及び北部環状線の整備により、市街化区域内の都市計画道路について整備率2.5%増を目指す。	51.4%	平成24年	52.4%	平成28年度
2. 公共施設の耐震化率	%	市全体の公共施設の耐震化率	避難場所や災害拠点となる公共施設の耐震化と高齢化社会に対応したバリアフリー化を進める	60.7%	平成24年	100%	平成27年度
3. 排水エリアの面積	ha	排水施設の整備によって排水環境が整ったエリアの面積	道路整備等に併せた排水施設の整備・改善により、慢性的な水害を防ぎ安産・快適なまちづくりを目指す	20.3ha	平成24年	28.2ha	平成28年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>■整備方針1</b>  <b>歩行者や自転車に配慮したまちづくりの推進～駅周辺や通学路などの、安全・安心な歩行者・自転車空間の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬藤岡駅周辺のバリアフリー化や通学路の改善に加えて、北藤岡駅前の駐輪場整備等を推進することで、安全な歩行者・自転車空間の確保を継続する。</li> <li>・岡之郷地区地区の(都)藤岡インターチェンジ北口線を整備し、新町駅利用のための藤岡市側のアクセス動線を確保する。</li> </ul>	<p>【街路】藤岡インターチェンジ北口線事業          【道路】小野小学校通学路歩道整備事業          【道路】市道2260号道路改良事業          【地域生活基盤施設】北藤岡駅自転車駐輪場改善事業          【道路・関連事業】群馬藤岡駅周辺地区バリアフリー事業          【関連事業】市道4520・4535号道路改良事業          【関連事業】市道2461号舗装改修事業          【関連事業】市道206号舗装改修事業          【関連事業】道路照明LED化事業</p>
<p><b>■整備方針2</b>  <b>災害に強いまちづくりの推進～避難場所の耐震化や浸水対策を強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の耐震改修工事とバリアフリー化を実施し、災害時の安全な避難所を確保する。</li> <li>・道路整備や改良にあわせて雨水排水路等を設置するなど、浸水対策の強化を継続する。</li> </ul>	<p>【地域創造支援事業】北部環状線交差点改良事業に伴う雨水排水路設置工事          【関連事業】古桜町周辺調整池整備工事          【関連事業】藤岡公民館エレベーター設置及び外壁補修事業          【関連事業】神流公民館耐震改修事業          【関連事業】小野公民館耐震改修事業          【関連事業】高山邸跡地活用事業</p>
.	

その他

### 【計画の監理】

定期的に事業進捗状況の確認や、事業遂行上の問題点を議論する府内調整会議を開催する。

また、事後評価実施時に、都市再生整備計画事業の導入による効果発現状況を確認するためのアンケート調査を実施し、今後の事業展開に活用する。

## 交付対象事業等一覧表

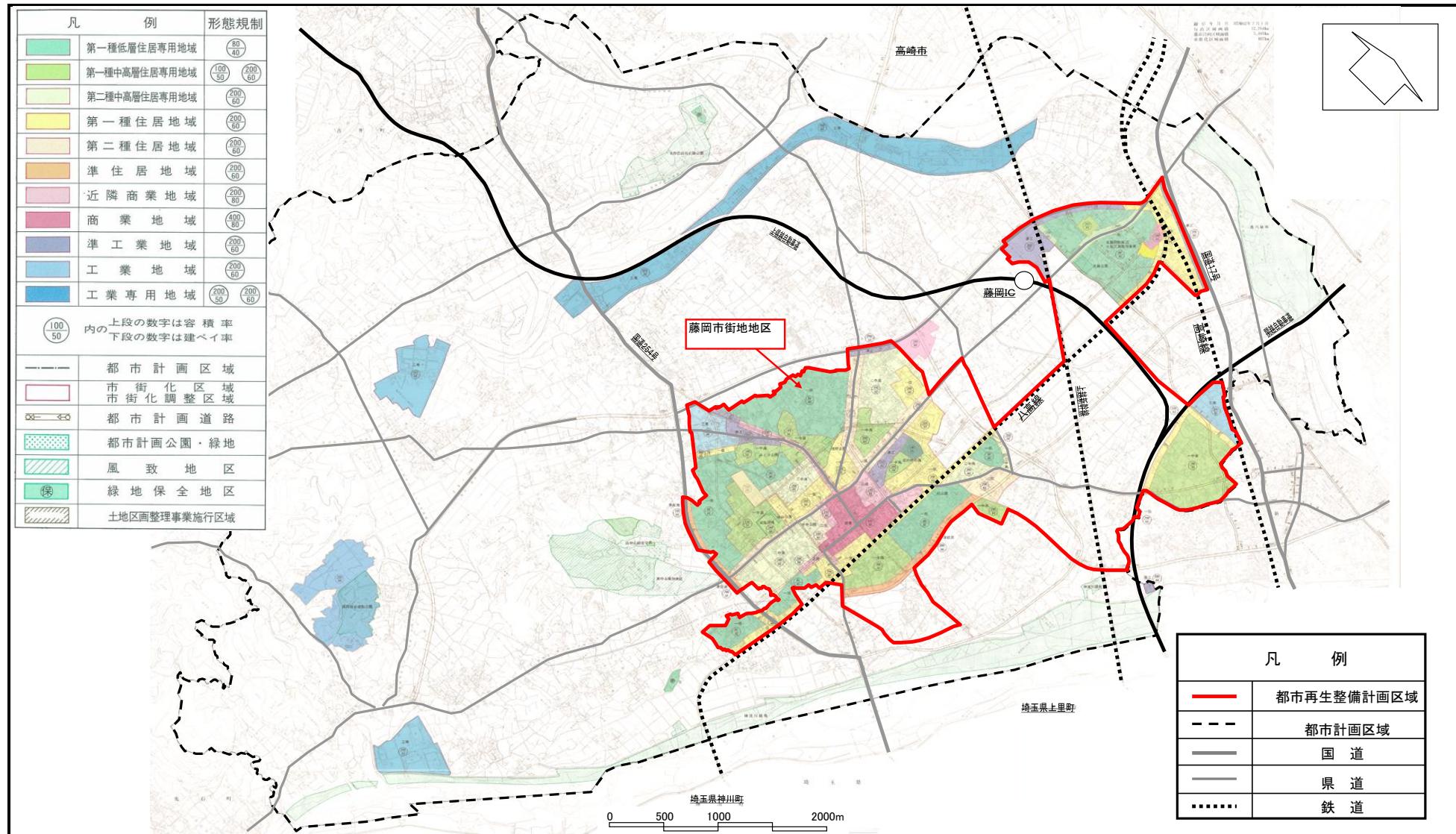
交付対象事業費	972	交付限度額	388.8	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

(参考)関連事業

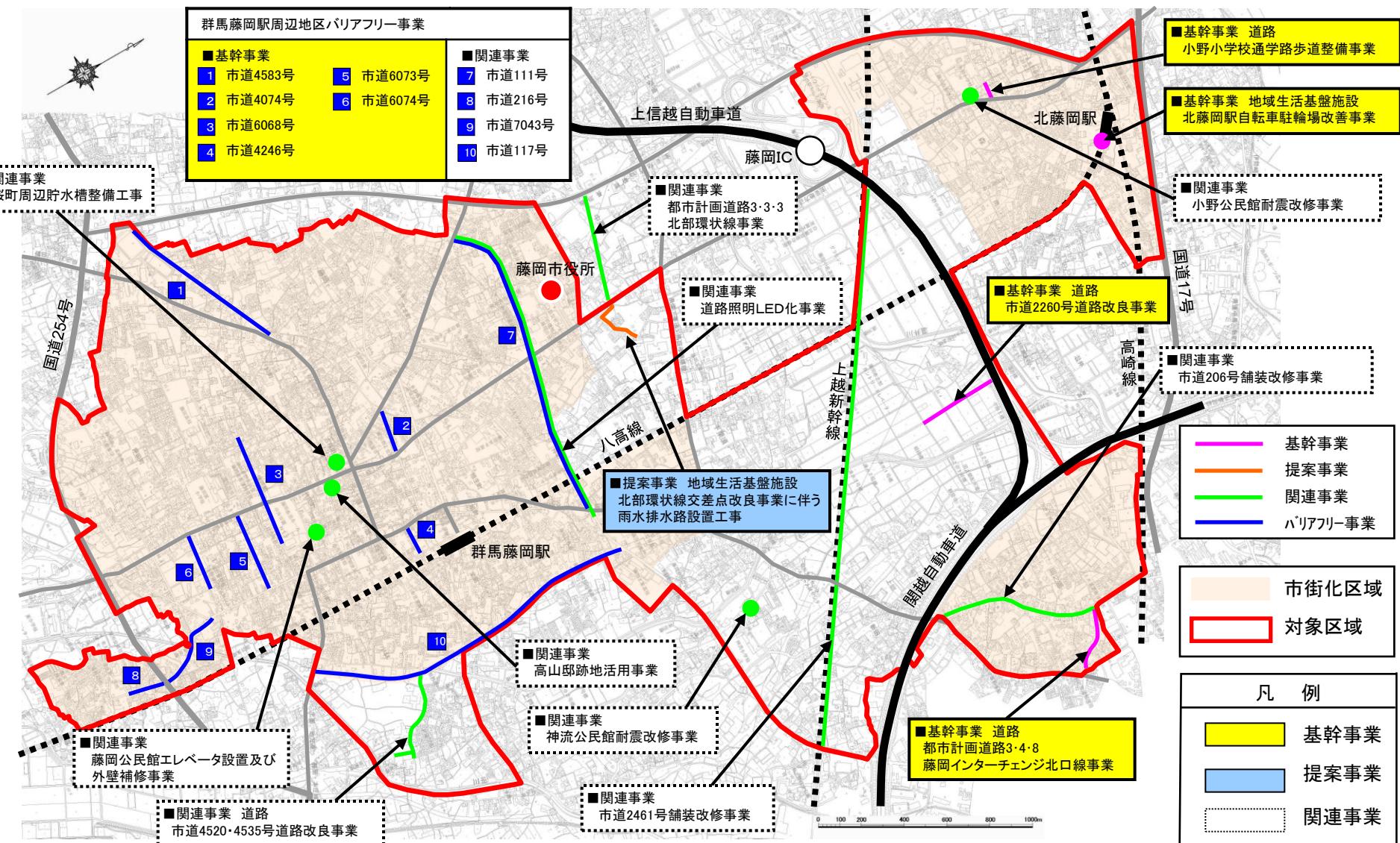
## 都市再生整備計画の区域

藤岡市街地地区(群馬県藤岡市)	面積	999 ha	区域	藤岡、立石、森、中、岡之郷、上栗須、中栗須、下栗須、篠塚、上大塚、中大塚、下大塚、上戸塚、下戸塚、小林、本郷(すべて一部)
-----------------	----	--------	----	---



## 藤岡市街地地区(群馬県藤岡市) 整備方針概要図

目標	大目標: 安心・安全・快適なまち藤岡の形成 ①歩行者や自転車に配慮したまちづくりの推進 ②災害に強いまちづくりの推進	代表的な指標	都市計画道路の整備率 (%)	51.4%	(H24年度)	→	52.4%	(H28年度)
			公共施設の耐震化率 (%)	60.7%	(H24年度)	→	100.0%	(H27年度)
			排水エリアの面積 (ha)	20.3ha	(H24年度)	→	28.2ha	(H28年度)

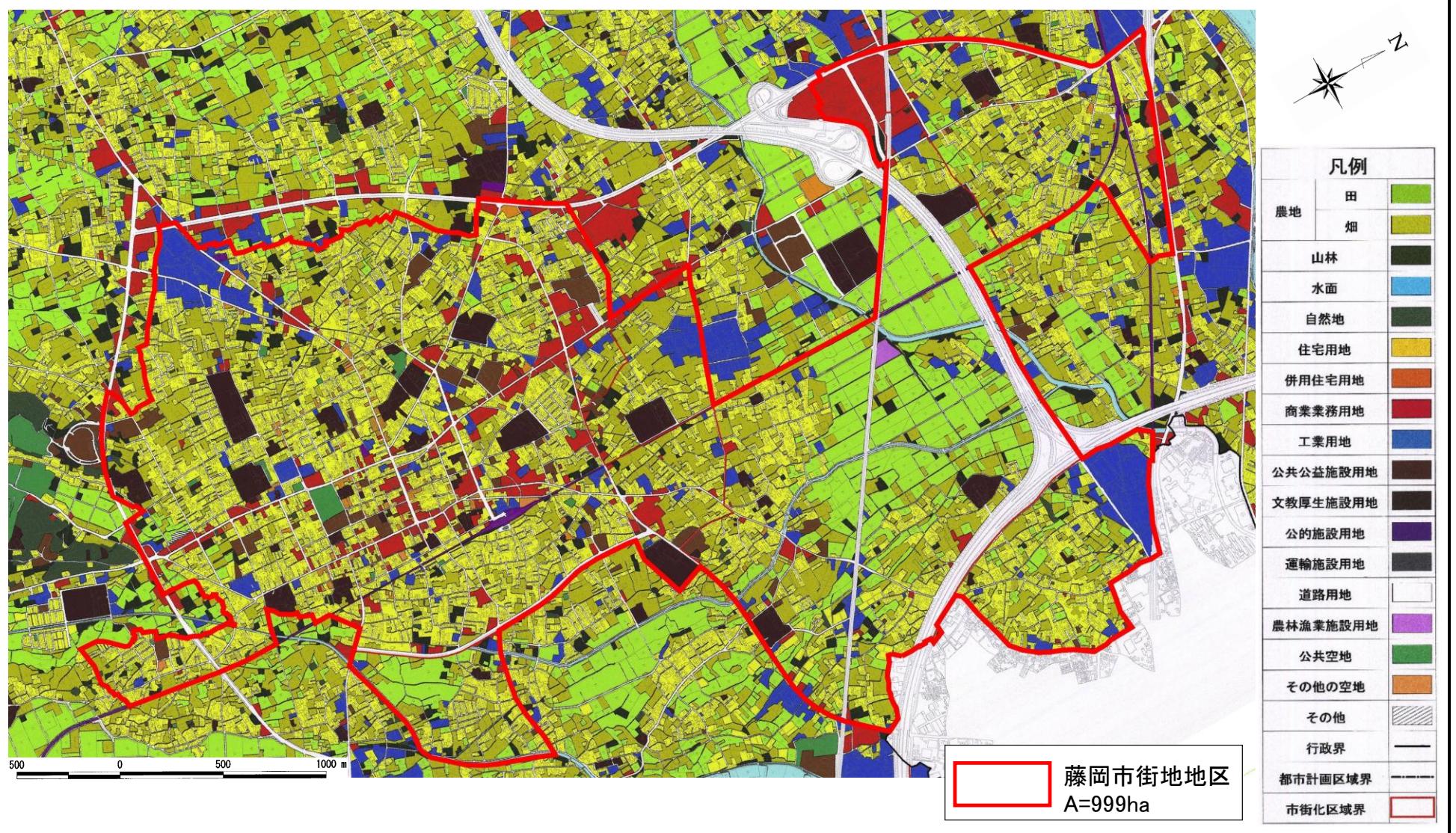


# 都市再生整備計画の添付書類等

## 交付対象事業別概要

ふじおかしがいちちく ぐんまけん ふじおかし  
藤岡市街地地区 (群馬県県藤岡市)

藤岡市街地地区(群馬県藤岡市) 現況図



## 交付限度額算定表(その1)

藤岡市街地地区（群馬県県藤岡市）

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	388.8 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	430,707.0 百万円	X≤Yゆえ、本計画における交付限度額	388.8 百万円
----------------------	-----------	-----------------------	---------------	--------------------	-----------

### 規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 3,995,844 m<sup>2</sup>

公共施設の上限整備水準		
区域面積(m <sup>2</sup> )		9,989,611
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
最近の国勢調査の結果による人口集中地区内		0.45
その他の地域		0.40

Ci 357,300 円/m<sup>2</sup>

単位面積あたりの標準的な用地費	
標準地点数	9
公示価格の平均値(円/m <sup>2</sup> )	40,500
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m <sup>2</sup> )	0.002
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m<sup>2</sup>

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設		
施設名(事業名)	面積(m <sup>2</sup> )	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap 1730750 m<sup>2</sup>

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m <sup>2</sup> )	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m <sup>2</sup> )	割合
道路	1,672,117	0.17
公園	58,633	0.01
広場		-
緑地		-
公共施設合計	1,730,750	0.17

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 430707 百万円

$\Sigma Cn$  0 円

下水道	0 円
区域面積(m <sup>2</sup> )	9,989,611
うち現況の供用済み区域面積(m <sup>2</sup> )	

標準整備費(円/m<sup>2</sup>) 3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m <sup>2</sup> )	9,400
標準整備費(円/m <sup>2</sup> )	420,500

調整池 0 円

調整池の容積(m <sup>3</sup> )	
標準整備費(円/m <sup>3</sup> )	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層	
一般		
合計	0	
標準整備費(円/戸)	超高層	一般
北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m <sup>2</sup> )	
標準共同施設整備費(円/m <sup>2</sup> )	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m <sup>2</sup> )	
標準整備費(円/m <sup>2</sup> )	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 430707 百万円

### 要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費 基幹事業(A) 944 百万円

提案事業(B) 28 百万円

合計 972 百万円

[1]式  $\alpha = 4(A+B)/5=$  778

[2]式  $\alpha = 10A/9=$  1,049

交付限度額(X) 388.8 百万円

交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]

平成20年度二次補正予算の執行

交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]

4)式の適用の場合、経過措置の適用

## 交付限度額算定表(その2)

藤岡市街地地区 (群馬県県藤岡市)

### 交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

		(百万円)	単位:百万円	
○交付対象事業費(必ず入力)			(百万円)	
交付対象事業費	基幹事業合計(A)	944.000	A (事業費)	① (国費)
	提案事業合計(B)	28.000	B (事業費)	② (国費)
	合計(A+B)	972.000	(事業費)	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.029		④ (国費率)

1)式で求まる額(4/10*(A+B))	388.800	① (国費)
2)式で求まる額(5/9*A)	524.444	② (国費)
上記①、②の小さい方	388.800	③ (国費)
国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

### ○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	③式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		③式の適用後(適用がある場合は3式反映)	388.800	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		③式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

### ○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正	防災対象事業(A')	A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	388.800	⑧ (国費)
の執行がある場合	補正予算の執行額	(国費)	執行額を足した額	388.800	⑨ (国費)
			補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	388.800	⑩ (国費)
			補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)	F (事業費)	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A"+B")	0.000	(事業費)		
	適用対象となる基幹事業合計(A")	A" (事業費)	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B")	B" (事業費)	適用後の国費率(⑬÷(A"+B"))	0.000	⑭ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)	H (事業費)	4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	0.000	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A"、B"を記入し、A"=A、B"=B、H=A"+B"=A+Bとなる。

↓	拡充も考慮した交付限度額	388.800	⑯ (国費)
---	--------------	---------	--------

### ○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	972.0	(事業費)
--------------	-------	-------

交付要綱第5に基づく交付限度額 (⑯を1万円の位を切り捨て)	388.8	⑰ (国費)
国費率	0.400	⑱ (国費率)

(参考)年次計画

藤岡市街地地区（群馬県藤岡市）

(事業費:百万円)

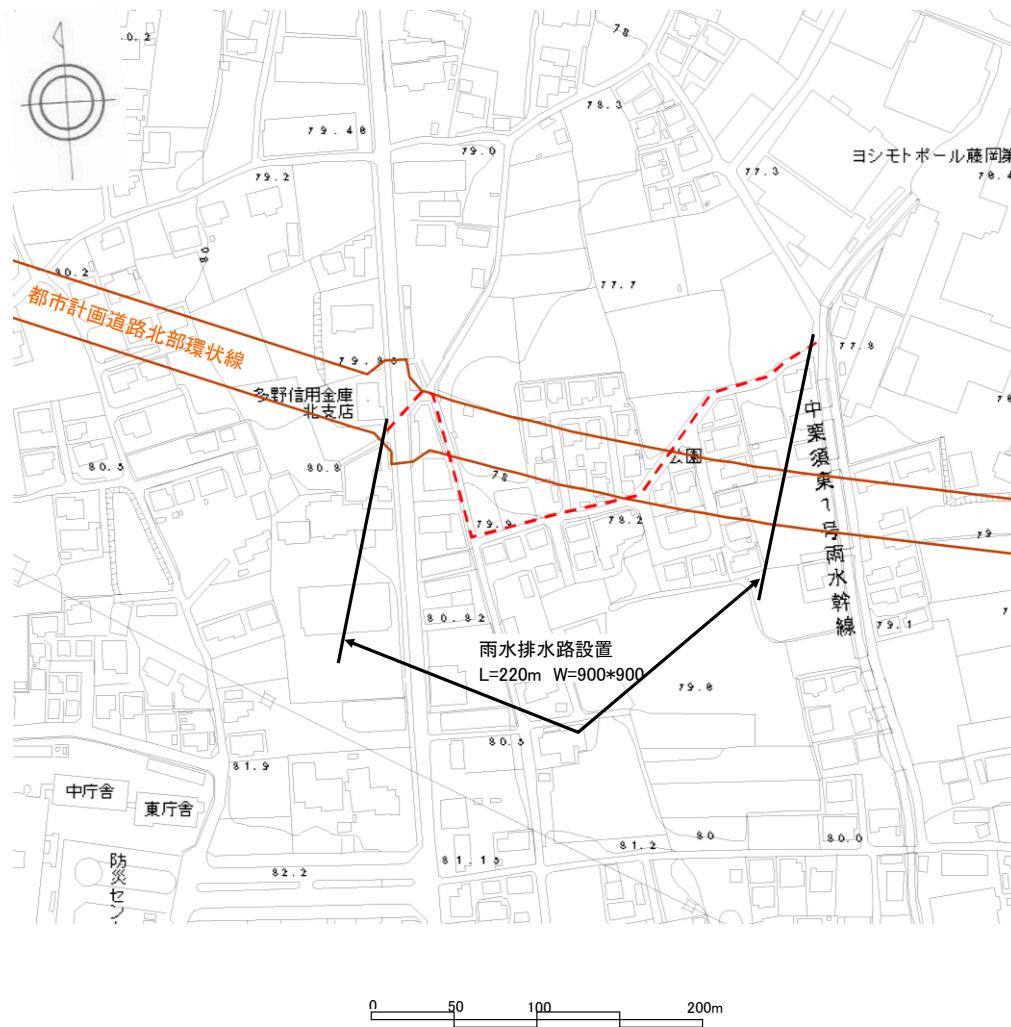
基幹事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
					平成28年度			
道路	街路	(都)3・4・8藤岡インターチェンジ北口線	市	830	100	200	200	200
	市道	群馬藤岡駅周辺(パリアフリー)	市	30	8	8	8	3
		小野小学校周辺(通学路)	市	40	30	10		
		市道2260号線	市	30	2	18	10	
公園								
古都及び緑地保全事業								
河川								
下水道								
駐車場有効利用システム								
地域生活基盤施設	北藤岡駅(駐輪場)		市	14	5	9		
高質空間形成施設								
高次都市施設								
既存建物活用事業								
土地区画整理事業								
市街地再開発事業								
住宅街区整備事業								
地区再開発事業								
パリアフリー環境整備促進事業								
優良建築物等整備事業								
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型							
	沿道等整備型							
	密集住宅市街地整備型							
	耐震改修促進型							
街みどり環境整備事業								
住宅地区改良事業等								
都心共同住宅供給事業								
公営住宅等整備								
都市再生住宅等整備								
防災街区整備事業								
計				944	145	245	218	203
				133				

提案事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
					28			1	27
地域創造支援事業	雨水排水路設置工事	北部環状線交差点	市						
事業活用調査									
まちづくり活動推進事業									
計				28	0	0	1	27	0
合計				972	145	245	219	230	133
累計進捗率 (%)					14.9%	40.1%	62.7%	86.3%	100.0%

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(単位:百万円)

## 【地域創造支援事業】 北部環状線交差点改良工事に伴う雨水排水路設置工事 設計図



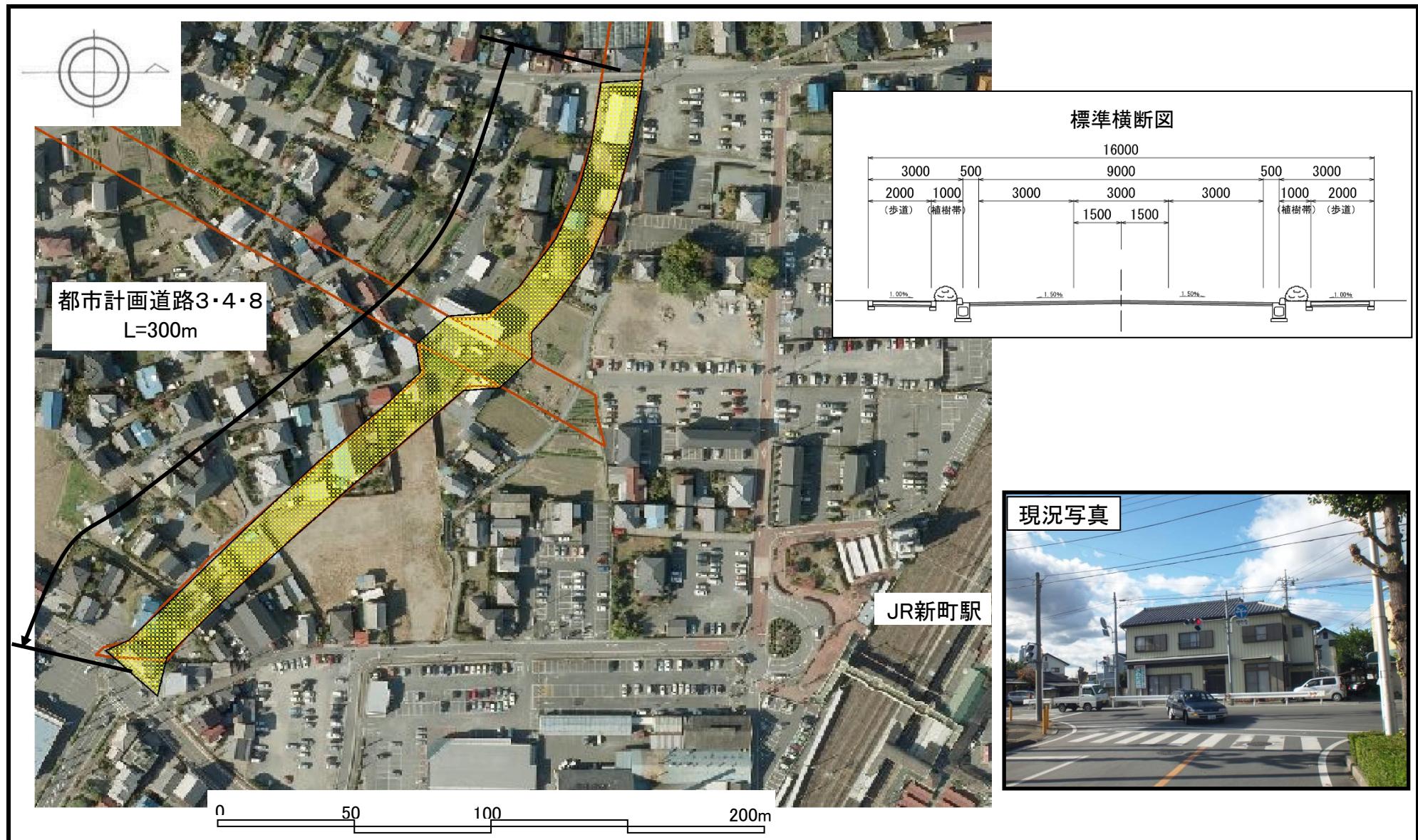
# 道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路区分 注1)	事業主体	事業手法 注2)	工種	延長 m	幅員		整備後車線数 車線	歩道幅員 m	まち交事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画決定 年月 注3)	備考 注4)
							整備前 m	整備 m							
<街路>				—											
藤岡インターチェンジ北口線	岡之郷～岡之郷	街	市	—	新設	300	0.0	16.0	2	3.0	830	H24～H28	道路新設	S49.7	全体延長L=3,360m
<道路>															
群馬藤岡駅周辺地区 バリアフリー事業	—	地	市	—	改良	2,020					30	H24～H28	道路改良(バリアフリー化)		
小野小学校通学路 歩道整備事業	森～森	地	市	—	改良	80	3.7	8.3	1	2.8	40	H24～H25	道路改良		
市道2260号線	岡之郷～岡之郷	地	市	—	改良	320	4.5	6.0	1	2.0	30	H24～H26	道路改良		

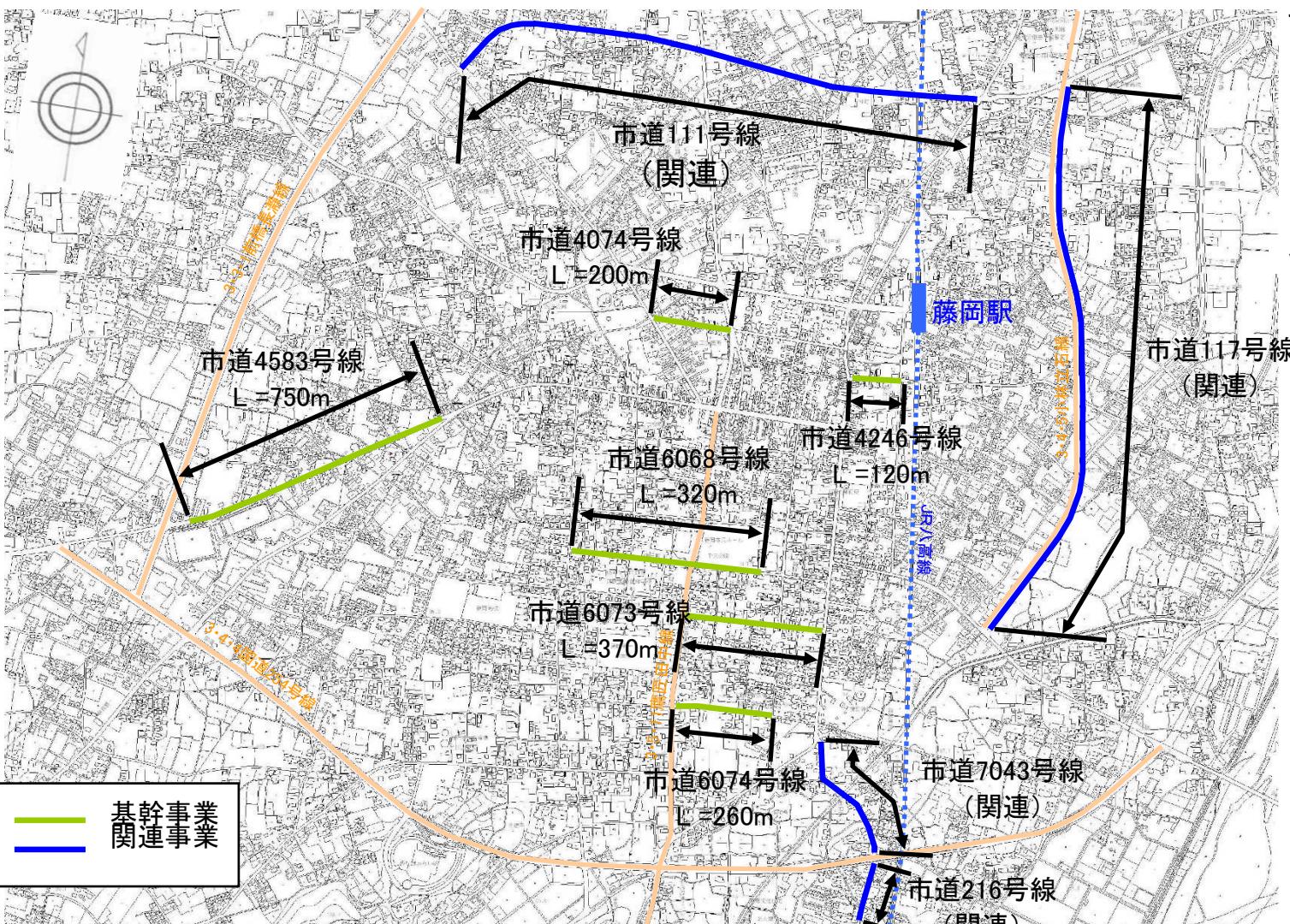
(参考)

<関連事業>															
北部環状線	上栗須～中栗須	街	市	—	新設	500	—	25.0	4	3.0	1500	H23～H29	道路新設		
市道2461号線	森～岡之郷	地	市	—	改修	2,600	5.5	5.5	1	—	100	H24～H28	舗装改修		
市道206号線	岡之郷～岡之郷	地	市	—	改修	1,500	4.0	4.0	1	—	18	H27～H28	舗装改修		
市道4520・4535号線	小林～上戸塚	地	市	—	改良	500	2.0	5.0	1	—	50	H24～H26	道路改良		
群馬藤岡駅周辺地区 バリアフリー事業	—	地	市	—	改良	3,070					375	H24～H28	道路改良(バリアフリー化)		

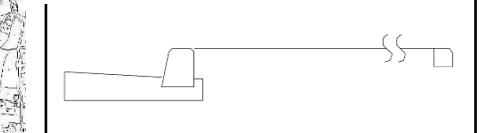
## 【街路】 都市計画道路3・4・8藤岡インターチェンジ北口線 設計図



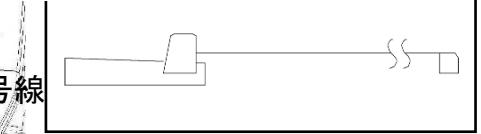
## 【道路】 バリアフリー事業 設計図



マウントアップ歩道



セミフラット歩道



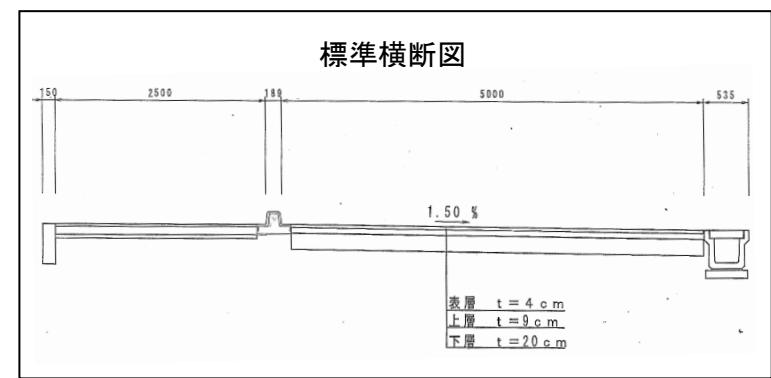
現況写真



現況写真

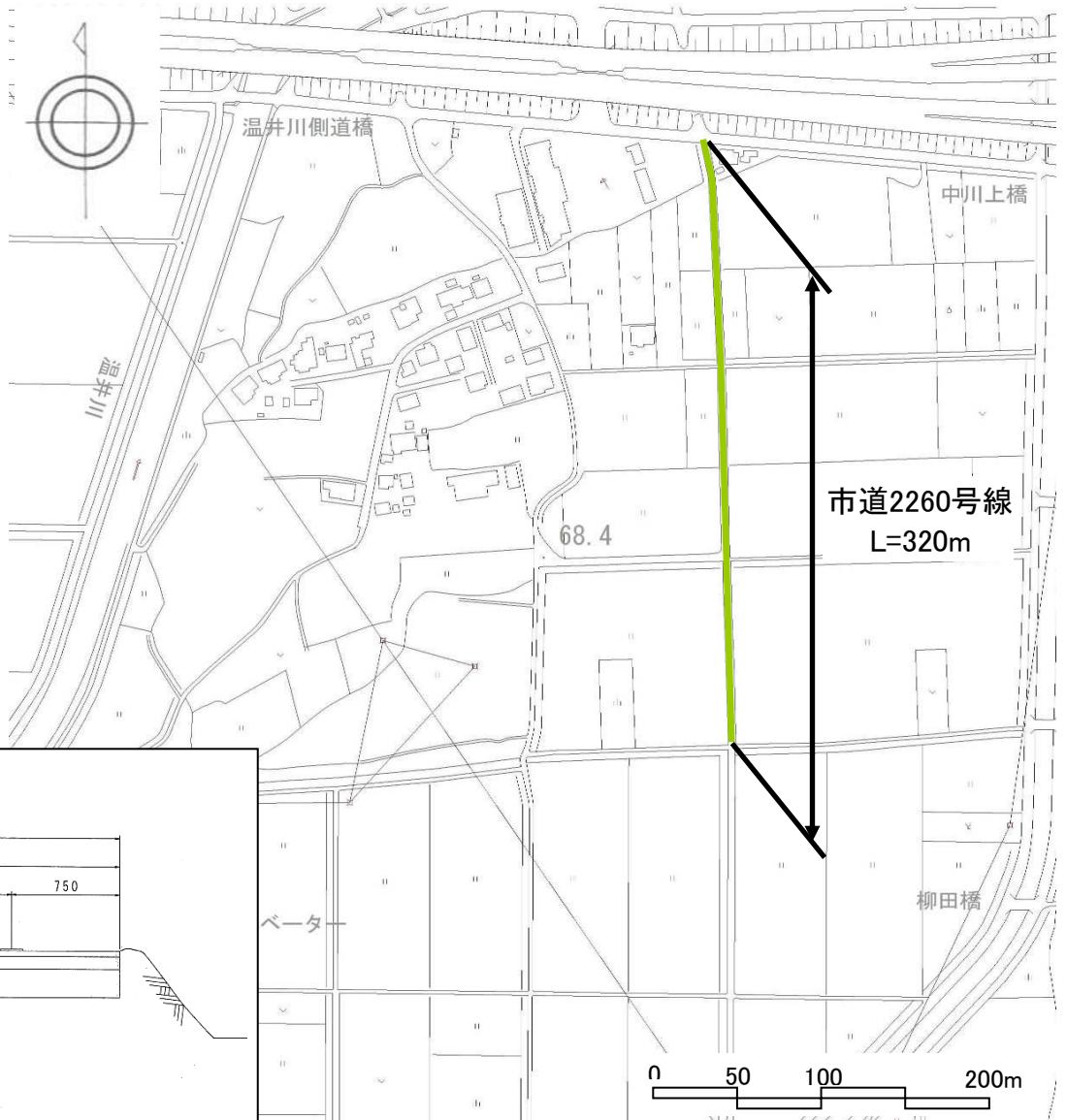


## 【道路】 小野小学校通学路歩道整備事業 設計図



## 【道路】市道2260号線 設計図

現況写真



## 地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								—	
広場								—	
駐車場									
自転車駐車場	北藤岡駅前(駐輪場)	市	平置き式3棟176台	14	0	7	7	3	都市計画決定:無 その他計画による 位置付け:無
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板								—	
地域防災施設	施設種別:							—	
合計	—	—	—						

## 【地域生活基盤施設】 北藤岡駅自転車駐輪場 設計図

